

本意な行動をさせられるのが「服従」である。1963年、Milgramは服従に関する以下の有名な研究を行なった。

被験者の公募を行い、くじで一人が生徒役、もう一人が教師役になる。実は、応募者は常に教師役になるようにしており、サクラの生徒役と公募の教師役が、生徒が間違えば電気ショックを与えるというシナリオを与えられる。電圧のスイッチは15ボルト間隔で30個あり、「微弱なショック」、「軽微なショック」などの表示があり、375-420ボルトには「危険—激烈なショック」、435ボルト以上には「×××」という表示がついている。そして、生徒が間違えるたびにショックのレベルを上げることが求められる。サクラの生徒は実際に電気ショックを受けるのではなく、演技をする。ショックがあがるにつれてだんだん激しく悲鳴を上げるシナリオになっている。そして、何ボルトのところか、教師役が監督役の指示に逆らって電気ショックのスイッチを押すことを拒否するかがこの実験の焦点である。

教師役がスイッチを押すのをためらったり、いやがったりすると、監督役は次の4つの返答をこの順序ですることになっている。

「実験を続けてください」

「あなたが続けることが実験には必要です」

「あなたが続けることがどうしても必要なのです」

「続ける意外に選択はないのです」

この4つのセリフを全部使っても教師役がスイッチを押すことを拒んだ時点で、被験者の最終拒否の時点とみなされ、実験は終了となる。

もし被験者が300ボルトのスイッチを押すと、サクラの生徒役は部屋の壁を激しくたたき続けることになる。そして、監督役が次の問題を与えても、生徒役は回答せず、壁をたたき続ける。実験室には一挙に緊張が漂う。そのなかで、監督役は教師役に、「回答がないのは誤答と同じです」と告げ、事務的な口調で続行を指示する。教師役がそれでスイッチを押すと、やがて生徒役は壁をたたかなくなり、完全な無反応になる。そして、教師役がスイッチを押し続けた場合は、被験者が450ボルトのスイッチを押した時点で、実験は終了とする。

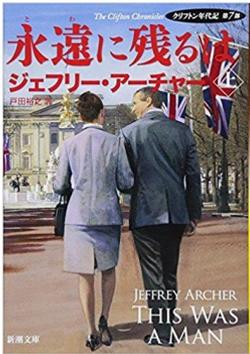
実験結果は、驚くべきものであった。40人中26人(65%)が最後まで服従を続けており、285ボルト以下で拒否をした人は一人もいなかった。さまざまな条件を変えても変わらなかった。くじをひく前の雑談の中で、生徒役になる人が「ちょっと心臓が悪くてね」と言っておくような健康上、同情すべき条件を入れても、服従は減らなかった。この実験では、「教師役」を途中で降りるといって、被験者が服従を拒否したとしても、その被験者には罰は与えられない。失うものが何もないのである。現実の組織では、命令系統もはっきり定義されており、服従拒否には、罰が想定される場合がある。罰が予想されなくても、人間関係や昇進などに長期的な影響を覚悟しなければならない場合もある。このように考えると、通常、個人が服従を強いられる場面では、もっと強く服従が生じる可能性が高い。

個人が「同調」と「服従」に向き合わざるを得ないケースが多い日本企業の組織風土において、個人が組織不正から逃れるには組織からの離脱も含めた強い意志が求められる。組織不正をなくすには悪しき組織風土を変えること、すなわち「組織風土の変革」しか道はない。これを行うことができるのは経営トップだけなのである。

>>次号は、広島経済大学 経済学部経営学科 山内 昌斗先生が担当されます。

◆今週の一冊◆

岡田先生のおすすめの一冊です。



「永遠に残るは」上下巻 クリフトン年代記 第7部 ジェフリー・アーチャー著、戸田裕之訳、新潮社

(第1部～第6部まで刊行されています)

ジェフリー・アーチャーさんのベストセラー「クリフトン年代記」の最終巻。毎年、1部刊行され今年で完結しました。毎年、この本の発刊が待ち遠しく至福の読書を7年間も過ごすことができました。間違いなく、J.アーチャーの代表作の一つです。

◎事務局から◎

2学期「マーケティング基礎」の講義日程が変更になりました。受講をご検討の方は、ご確認の上、お申し込みください。

【変更前】 4/15、10/22、10/29、11/5、11/12、11/19

【変更後】 10/22、10/29、11/5、11/12、11/19、**11/26**

引き続き、2学期、3学期の受講生を募集しております。

講座の詳細、お申し込みについては次のURLからご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

《カルチャー講座》

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/culture/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで career-up@hue.ac.jp

※メールの配信停止は、次のメールアドレスにご一報ください。その際は、必ずお名前を記入してください。

career-up@hue.ac.jp

※広島経済大学 公式HP <http://www.hue.ac.jp/>

発信元：広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)